

# 排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

DOWA IP クリエイション本社工場における  
工業炉の更新によるCO<sub>2</sub>削減事業

排出削減事業者名：DOWA IP クリエイション株式会社

排出削減事業共同実施者名：ES カーボンクレジット合同会社

その他関連事業者名：

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	DOWA IP クリエイション株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	DOWA IP クリエイション株式会社 本社工場
住所	岡山県岡山市築港栄町 7 番地
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	ES カーボンクレジット合同会社
その他関連事業者	
関連事業者名	

## 2 排出削減活動の概要

### 2.1 排出削減事業の名称

DOWA IP クリエイション本社工場における工業炉の更新によるCO<sub>2</sub>削減事業

### 2.2 排出削減事業の目的

本事業は、DOWA IP クリエイション株式会社 本社工場内における工業炉を更新し、燃料をC重油から都市ガスへ転換することにより、CO<sub>2</sub>排出削減を行うことを目的とする。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

本社工場の工業炉の燃料をC重油から都市ガスへ転換することでCO<sub>2</sub>削減を行う。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

特になし。

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2012年 1月 1日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年 4月 1日 ～ 2017年 9月 30日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
003	工業炉の更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
ベースラインエネルギー消費量	生産量 (t)	エネルギー使用量 (MJ/t)
		生産量 (t)

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

工業炉におけるエネルギー消費量は生産量に連動することから、生産量を活動量として採用する。

#### 4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

本事業バウンダリーは、都市ガス供給設備からトンネルキルン工業炉(2号炉)までとする。

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法に変更ある場合、) 変更理由
$F_{\text{fuel,Pj}}$	事業実施後の燃料使用量	$\text{Nm}^3$	2013: 1,480,951 2014: 1,718,212 2015: 1,524,050 2016: 1,229,487 2017: 699,035	実測値	
GP	事業実施後のエネルギー原 単位	MJ/t	2013: 5,541.9 2014: 5,291.7 2015: 5,343.1 2016: 5,610.2 2017: 5,712.5	実測値	
GB	事業実施前のエネルギー原 単位	MJ/t	2013~2017: 5,843.3	実測値	事業実施直前の 2009 年度~2010 年度の二年間 のエネルギー使用量と生産量から算出(モニタリ ング方法には変更なし)
$HV_{\text{fuel,Pj}}$	事業実施後の燃料の単位発 熱量(都市ガス)	MJ/Nm <sup>3</sup>	2013: 44 2014: 46.4 2015~2017: 46	デフォルト値	
$CF_{\text{fuel,BL}}$	事業実施前の燃料の単位発 熱量あたりの排出係数(C 重	t-CO <sub>2</sub> /GJ	2013~2017: 0.0741	デフォルト値	

	油)				
$CF_{fuel,Pj}$	事業実施後の燃料の単位発 熱量あたりの排出係数(都市 ガス)	t-C2/GJ	2013、2014 : 0.0517 2015～2017 : 0.0521	デフォルト値	

## 6 排出削減量の計算

### 6.1 事業実施後排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	1,480,951	44	0.0517	3,368.9
2014 年度	1,718,212	46.4	0.0517	4,121.8
2015 年度	1,524,050	46	0.0521	3,652.5
2016 年度	1,229,487	46	0.0521	2,946.6
2017 年度	699,035	46	0.0521	1,675.3
単位	Nm <sup>3</sup>	MJ/Nm <sup>3</sup>	t-CO <sub>2</sub> /GJ	t-CO <sub>2</sub>
EM <sub>PJ</sub>				15,765.1

### 6.2 ベースライン排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	68,705.8	41.9	0.0741	5,091.1
2014 年度	88,035.5	41.9	0.0741	6,523.4
2015 年度	76,670.2	41.9	0.0741	5,681.3
2016 年度	58,906.5	41.9	0.0741	4,365.0
2017 年度	32,892.1	41.9	0.0741	2,437.3
単位	GJ	MJ/L	t-CO <sub>2</sub> /GJ	t-CO <sub>2</sub>
EM <sub>BL</sub>				24,098.1

### 6.3 リークエージ排出量

	活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
2013 年度	0	0	0	0
2014 年度	0	0	0	0
2015 年度	0	0	0	0
2016 年度	0	0	0	0
2017 年度	0	0	0	0
LE				0

#### 6.4 温室効果ガス排出削減量

項目		記号	
ベースライン排出量	(7.2)	<i>EM<sub>BL</sub></i>	24,098.1
事業実施後排出量	(7.1)	<i>EM<sub>PJ</sub></i>	15,765.1
リーケージ排出量	(7.3)	<i>LE</i>	0
<b>温室効果ガス排出削減量</b>		<b><i>ER</i></b>	<b>8,333</b>

## 7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン (①)	実績 (②)	ベースライン - 実績 (①-②)
8,390.4	7,835.6	554.8

省エネルギー量 (原油換算) = 554.8 kl

熱量換算及び原油換算において用いる換算係数については、エネルギー使用の合理化に関する法律 (省エネ法) 施行規則第 4 条に規定する換算係数を使用すること。

## 9 再生可能エネルギー利用量

なし

	モニタリング期間 ( 年 月 日 ~ 年 月 日 )			
		エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算(kl) (実績)
	単位			
	t			